

## 第6回ワークショップ グループワークテーマ紹介

次のワークショップでは、3つのグループに分かれて意見交換を行います。  
各グループのテーマは次のとおりです。

### 1. 「コミュニケーション日本一の病院」

「私たちは、小さいからこそできる『コミュニケーション日本一の病院』を実現します。」これが新病院の基本理念です。しかし、一言にコミュニケーションと言っても、患者さんと職員とのことなのか、職員同士、はたまた地域と病院のことなのかと、たくさんのコミュニケーションのあり方が考えられます。

このグループでは、特に皆さんの患者目線（市民目線）から見たコミュニケーションのあり方や、コミュニケーション日本一の実現のため新病院の機能を使ってどんなことができるかについて話し合います。

【図面のここがポイント!!】

コミュニケーションラウンジ、とこなめホール、保健センター など

### 2. 「ボランティアの活躍のためには」

病院敷地の花壇の手入れからはじまり、院内の案内役、患者さんの手助けまで、八千代病院でも、南生協病院でもたくさんの『ボランティア』の方が活躍されていました。病院はボランティアの皆さんに支えられて成り立っており、もちろん新病院も例外ではありません。

このグループでは、新病院においてボランティアの皆さんにどのように活躍していただくか、また、そのためには設計段階において、どんなことを考えておかなければならないかを話し合います。

【図面のここがポイント!!】

ボランティアステーション、メインエントランス、屋上庭園 など

### 3. 「患者・来院者・地域住民等のアメニティ向上のためには」

南生協病院の視察ではパン屋さんやフィットネスジム、保育所など附属施設に対する感想をたくさんいただきました。病院の印象は、喫茶や売店(コンビニ)や食堂はもちろん、授乳室やトイレにいたるまで病院のもつ『アメニティ』によって大きく左右されると言っても過言ではありません。

このグループでは、患者が満足し、新病院のファンとなってもらい次回も新病院を利用しようと思ってもらうためにはどんなアメニティが考えられるのかについて話し合います。

【図面のここがポイント!!】

喫茶、売店(コンビニ)、レストラン、授乳室、トイレ、家族宿泊室 など